

相互協議申立書の記載要領等

1 この申立書は次の場合に使用します。

- (1) 租税条約の規定に基づき、租税条約等の実施に伴う所得税法、法人税法及び地方税法の特例等に関する法律の施行に関する省令（昭和44年大蔵・自治省令第1号）（以下、「租税条約等実施特例省令」といいます。）第12条第1項《租税条約の規定に適合しない課税に関する申立て等の手続》若しくは第13条《双方居住者の取扱いに係る協議に関する申立ての手続》又は遺産、相続及び贈与に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための日本国とアメリカ合衆国との間の条約の実施に伴う相続税法の特例等に関する法律の施行に関する省令（昭和44年大蔵省令第36号）第3条第1項《二重課税に関する申立ての手続》の規定に従って、法人（法人税法第2条第8号に規定する人格のない社団等を含みます。以下同じです。）又は個人が、我が国の権限ある当局と相手国等の権限ある当局との相互協議の申立てを行うとき
- (2) 平成13年6月1日付査調7-1ほか3課共同「移転価格事務運営要領の制定について」（事務運営指針）6-2、平成17年4月28日付査調7-4ほか3課共同「連結法人に係る移転価格事務運営要領の制定について」（事務運営指針）6-2、平成28年6月28日付査調7-1ほか3課共同「恒久的施設帰属所得に係る所得に関する調査等に係る事務運営要領の制定について」（事務運営指針）7-1、平成28年6月28日付査調7-2ほか3課共同「連結法人の国外事業所等帰属所得に係る連結所得に関する調査等に係る事務運営要領の制定について」（事務運営指針）5-1又は平成29年3月31日付課個8-5ほか3課共同「個人の恒久的施設帰属所得に係る各種所得に関する調査等に係る事務運営要領の制定について」（事務運営指針）6-1に定める事前確認の申出を行うとともに、法人又は個人が、租税条約の規定に基づく相互協議を求めるために、我が国の権限ある当局と相手国等の権限ある当局との相互協議の申立てを行うとき

2 相互協議の申立てに当たっては、この申立書及び添付資料各1部を、国税庁相互協議室に提出してください。申立ての対象となる取引の当事者が「連結親法人」又は「連結子法人」である場合は、連結親法人が提出してください。

3 各欄の記載は次によります。各欄に記載できない場合には、適宜の用紙に記載して相互協議申立書に添付してください。

- (1) 「法人名又は氏名」欄には、申立者が内国法人又は居住者である場合には、日本語による表記のほか、英語による表記を記載してください。
- (2) 「申立法人」欄は、申立者が内国法人である場合のみ、「単体法人」又は「連結親法人」のいずれかを選択し、レ印を記載してください。連結法人に係る申立人は「連結親法人」となります。
- (3) 「法人番号又は個人番号」欄には、申立者の法人番号又は個人番号を記載してください（法人番号又は個人番号を有する場合に限ります）。ただし、個人が事前確認に係る相互協議を求める場合は、個人番号を記載する必要はありません。
- (4) 「納税地」欄には、申立者の住所若しくは居所又は本店若しくは主たる事務所の所在地を記載してください。当該申立者が外国法人又は非居住者であって、当該申立者の相手国等における納税地がこれと異なる場合には、併せて記載してください。
- (5) 「相手国等における納税者番号」欄には、申立者が外国法人又は非居住者である場合に、記載してください（相手国等において納税者番号を有する場合に限ります）。
- (6) 「責任者氏名」欄は、この申立てに係る責任者の氏名、役職名及び電話番号を記載してください。
- (7) 申立ての対象となる取引の当事者が「連結子法人」であるときには、「連結子法人」欄に、当該連結子法人の法人名（日本語及び英語による表記）、本店又は主たる事務所の所在地等を記載してください。「連結子法人」が複数ある場合には、次葉に記載してください。
- (8) 「国外関連者等」欄には、この申立てが移転価格課税等又は事前確認に係るものである場合に記載します。申立者が内国法人又は居住者である場合には、相手国等に所在する国外関連者又は恒久的施設について、申立者が外国法人又は非居住者である場合には、当該外国法人の関連者である内国法人又は我が国に所在する恒久的施設について記載してください。「国外関連者等」が複数ある場合には、次葉に記載してください。
- (9) 「申立ての対象となる所得金額等」欄は、我が国又は相手国等における課税により増加した所得金額及び税額（その事案が源泉徴収に関するものである場合には、源泉徴収対象金額及び税額。以下同じです。）を（連結）事業年度（年分）ごとに区分して記載してください。
なお、源泉所得税額については金額の頭部に「(原)」と表示してください。
(注) この申立てが相手国等における課税に係るものである場合には、その課税により増加する所得金額及び税額を（連結）事業年度終了の日（個人にあつては、その年の12月31日）における外国為替銀行の対顧客直物電信売相場と対顧客直物電信買相場の仲値により円換算し、その円換算額を相手国等通貨による金額と併せて記載してください。
- (10) 相互協議の申立てが、我が国における移転価格課税等に起因している場合、当該移転価格課税等により納付すべき国税の額（当該相互協議の申立てに係る相手国等の権限ある当局との間の相互協議の対象となるものに限ります。）及び当該国税の額に係る加算税の額に関する納税の猶予申請についての希望の有無を記載してください（納税の猶予申請を行うに当たっては、別途、「納税の猶予申請書」等を提出する必要があります。）。

また、地方税法第55条の2第1項《租税条約に基づく申立てが行われた場合における法人の道府県民税の徴収猶予》等に規定する徴収猶予の申請についての希望の有無も記載してください（一つの税目でも徴収猶予の申請を希望する場合には「有」にレ印を記載してください。当該徴収猶予の申請を行うに当たっては、別途、申請書等を都道府県・市区町村に提出する必要があります。）。

- (11) 「申立ての対象となる事実の概要及び申立ての理由等」欄には、この申立ての対象となる事実、申立ての理由を、また「連結子法人又は国外関連者等が複数ある場合の追加記入欄」には連結子法人又は国外関連者等が複数ある場合に記載してください。
- (12) この申立書を代理人によって提出する場合には、「税理士等に関する事項」欄の該当する項目にレ印を記載し、代理人の氏名（名称）、住所（所在地）及び代理権限等の届出をした税務署名を記載してください。
(注) 「納税管理人」とは、日本国の国税に関する申告、申請、請求、届出、納付等の事項を処理させるため、国税通則法の規定により選任し、かつ、日本国における納税地の所轄税務署長に届出をした代理人をいいます。

4 この申立書には次の資料を添付してください。

なお、国税庁相互協議室は、次に掲げる資料以外にも相互協議の実施のために必要と認められる資料の提出を求めることがあります。

- (1) 申立てが我が国又は相手国等における課税に係るものである場合には、更正通知書等当該課税の事実を証する書類の写し、当該課税に係る事実関係の詳細及び当該課税に対する申立者又はその国外関連者の主張の概要を記載した書面（課税に至っていない場合には、課税を受けるに至ると認められる事情の詳細及び当該事情に対する申立者又はその国外関連者の主張の概要を記載した書面）
- (2) 申立者又はその国外関連者が当該課税について不服申立て又は訴訟を行っている場合には、(1)に掲げる資料に加え、不服申立て又は訴訟を行っている旨及び申立者又はその国外関連者の主張の概要を記載した書面並びに不服申立書又は訴状の写し
- (3) 当該課税が移転価格課税に係るものである場合には、(1)に掲げる資料に加え、当該申立ての対象となる取引の当事者間の直接若しくは間接の資本関係又は実質的支配関係を示す資料
- (4) 申立てが租税条約等実施特例省令第13条に係るものであり、かつ、租税条約又はこれに付属する政府間の取決めに於いて相互協議を行うに当たり考慮すべき事項が定められている場合には、(1)に掲げる資料に加え、その定められている事項に関する資料
- (5) 申立者又はその国外関連者等が相手国等の権限ある当局に相互協議の申立てを行っている場合には、その旨を証する書類の写し
- (6) その他協議の参考となる資料

5 この申立書に添付する書類のうち外国語のものについては、日本語訳を添付してください。

6 国税庁相互協議室への連絡

- (1) この申立書又は添付書類その他の提出資料に誤り又は重要な変更があった場合には、遅滞なく国税庁相互協議室に連絡してください。
- (2) 相手国等における課税処分、不服審査又は事前確認審査の進ちょく状況等については、遅滞なく国税庁相互協議室に連絡してください。

7 その他

- (1) 国税庁相互協議室では、相互協議の申立てについての事前相談に応じています（連絡先：相互協議第一係：03-3581-5451（代表））。
- (2) 相互協議は、平成13年6月25日付官協1-39他7課共同「相互協議の手続について」（事務運営指針）により行われています。この事務運営指針は、国税庁相互協議室で入手でき、また、国税庁のホームページ（www.nta.go.jp）でも閲覧できます。

Instructions for Completing the Application Form for the Mutual Agreement Procedure (MAP)

1. This form is to be used:
 - (1) where a corporation or individual requests a MAP between the competent authorities of Japan and a treaty partner in accordance with paragraph 1 of Article 12 [Procedures regarding Requests for Mutual Agreement Procedures Related to Taxation Not in Accordance with the Provisions of a Tax Treaty] or Article 13 [Procedures for Requests Related to Dual Residency] of the Ministerial Ordinance Implementing the Act on Special Provisions of the Income Tax Act, the Corporation Tax Act, and the Local Tax Act regarding the Application of Tax Conventions (1969 Ministry of Finance/Ministry of Home Affairs Ordinance No.1)(hereinafter referred to as “Ministerial Ordinance (Income Tax Convention)”, or paragraph 1 of Article 3 [Procedures for Requests Related to Double Taxation] of the Ministerial Ordinance Implementing the Act on Special Provisions of the Inheritance Tax Act regarding the Application of the Convention between Japan and the United States of America for the Avoidance of Double Taxation and the Prevention of Fiscal Evasion with respect to Taxes on Estates, Inheritances, and Gifts (1969 Ministry of Finance Ordinance No.36)(hereinafter referred to as “Ministerial Ordinance (Inheritance Tax Convention)”) pursuant to the provisions of the tax treaty;
 - (2) where a corporation or individual requests a MAP between the competent authorities of Japan and a treaty partner, with a request for an Advance Pricing Arrangement (APA) in accordance with 6-2 of the Commissioner’s Directive on the Operation of Transfer Pricing (Administrative Guidelines) issued on June 1, 2001 [Document ID: Large Enterprise Examination Division 7-1 and others], 6-2 of the Commissioner’s Directive on the Operation of Transfer Pricing for Consolidated Corporations (Administrative Guidelines) issued on April 28, 2005 [Document ID: Large Enterprise Examination Division 7-4 and others], 7-1 of the Commissioner’s Directive on the Operation of Auditing, etc., for Income Attributable to Permanent Establishments (Administrative Guidelines) issued on June 28, 2016 [Document ID: Large Enterprise Examination Division 7-1 and others], 5-1 of the Commissioner’s Directive on the Operation of Auditing, etc., for Consolidated Income Attributable to Consolidated Corporation’s Permanent Establishments Located Overseas (Administrative Guidelines) issued on June 28, 2016 [Document ID: Large Enterprise Examination Division 7-2 and others], 6-1 of the Commissioner’s Directive on the Operation of Auditing, etc., for Various Income Attributable to Individual Permanent Establishments (Administrative Guidelines) issued on March 31, 2016 [Document ID: Individual Taxation Division 8-5 and others].
2. Submit the Application with attachments to the Office of Mutual Agreement Procedures (the MAP Office). If the party of the covered transaction is a consolidated parent corporation or subsidiary, the consolidated parent corporation must submit the Application and the attachments.
3. Follow the instructions below for filling in each column. You may use any other form and attach it to the Application form if there is not enough room in any of the columns.
 - (1) In “Name of corporation or individual”, if the applicant is a domestic corporation or resident, enter the name, written in Japanese and English, of the applicant.
 - (2) In “Applicant corporation”, if the applicant is a domestic corporation, check the applicable box, either “Single corporation” or “Consolidated parent corporation”. In the case where the applicant is a consolidated corporation, check “Consolidated parent corporation”.
 - (3) In “Corporate number or individual number”, enter the corporate number or individual number of the applicant (if any). In the case where an individual submits a request for a MAP (MAP request) with regard to an APA, the individual number is not necessary.
 - (4) In “Place of tax payment”, provide the address of its head office or principal office (in the case of a corporation) or the address of domicile or residence (in the case of an individual). If the applicant is a foreign corporation or non-resident and has any other place as a place of tax payment, the address of this place is also to be provided.
 - (5) In “Tax ID number in treaty partner jurisdiction”, enter tax identification number in the treaty partner jurisdiction only if the applicant is a foreign corporation or non-resident and has any identification number in the treaty partner jurisdiction.
 - (6) In “Name of the person in charge”, enter the name, position and telephone number of the person who is in charge of the MAP request.
 - (7) In “Consolidated subsidiary”, enter the name, written in Japanese and English, of the consolidated subsidiary and the address of its head office or principal office, if it is the party of the covered transaction in the MAP request.
In the case where there is more than one consolidated subsidiary, provide the information on the next page.
 - (8) In “Foreign affiliated corporation / permanent establishment, etc.”, provide the following information, if the MAP request is regarding transfer pricing taxation, taxation on income attributable to a permanent establishment or APA: in the case where the applicant is a domestic corporation or resident, information of the foreign affiliated corporation or permanent establishment which is situated in the treaty partner jurisdiction; in the case where the applicant is a foreign corporation or non-resident, information of the affiliated corporation or permanent establishment of the applicant which is situated in Japan.

In the case where there is more than one foreign affiliated corporation or permanent establishment, provide the information on next page.

- (9) In “Amount of taxable income and tax that are the subject of the MAP request”, enter the amount of income and tax of each taxable year which was increased as a result of taxation in Japan or the treaty partner (In the case of a tax withheld, enter the amount which was the subject of the withholding tax and the amount of the tax withheld. The same applies hereinafter.). With regard to a tax withheld, indicate “(withholding tax)” before the amount entered.

Note: Where the request is regarding taxation in a treaty partner, enter the amount of income and tax increased as a result of taxation in the currency of the treaty partner and in Japanese yen calculated by the middle rate of TTB and TTS on the end day of its taxable year (In the case of an individual, the end day is to be December 31 of that year.).

- (10) If the MAP request is regarding transfer pricing taxation in Japan, check the applicable box to indicate whether the applicant will request grace of tax payment regarding the amount of national tax payable based on the transfer pricing taxation, etc., (as far as such amount is the subject of the MAP between Japan and the treaty partner) and additional tax based on the national tax. In the case where the applicant requests grace of tax payment, “the Application for the Grace of Tax Payment” is to be submitted.

Check the applicable box to indicate whether the applicant requests grace of tax collection provided for in Article 55-2 [Grace of Tax Collection for Prefectural Inhabitants Tax on Corporations Where a Mutual Agreement Procedure Has Been Requested Pursuant to the Provisions of an Applicable Tax Treaty] or not.

Check “yes”, if the applicant requests such grace for even just one tax item. In the case where the applicant requests grace of tax collection, the application for such grace is to be submitted to prefectures and municipalities.

- (11) In “Summary of the facts that are the subject of the MAP request and reason for the request”, describe the facts to be the subject of the MAP request and the reason for this request.

“Additional information form to be used for multiple consolidated subsidiaries / foreign affiliated corporations, etc.” may be used in the case where there is more than one consolidated subsidiary or foreign affiliated corporation.

- (12) Where this form is prepared and submitted by the agent, check the applicable box, either “Certified public tax accountant” or “Tax agent” and enter such person's name, address and name of the tax office where the tax agent is registered.

Note: “Tax agent” means a person who is appointed by the taxpayer and registered with the District Director of the Tax Office in the place where the taxpayer is to pay tax, under the provisions of the Act on General Rules for National Taxes, and who is empowered to undertake any necessary procedures on behalf of the taxpayer concerning Japanese national taxes, such as filing a return, application, claim, payment of tax, etc.

4. Attach the following materials to the Application: the MAP Office may request additional documents not listed below, if they are considered to be necessary for the process of MAP.

- (1) If the MAP request is regarding taxation in Japan or in a treaty partner: a copy of the letter of the assessment or other document that proves such taxation, a written description of the facts and an outline of the position of the applicant or its foreign affiliated corporation regarding the taxation (Where the taxation has not occurred, a detailed description how the action of either jurisdictions will result in taxation and an outline of the position of the applicant or its foreign affiliated corporation regarding such taxation.)
- (2) If the MAP request is regarding taxation in Japan or in a treaty partner, and the applicant or its foreign affiliated corporation has filed an administrative appeal or a lawsuit regarding the taxation: in addition to the documents described in (1), documents indicating that an administrative appeal or a lawsuit has been filed, and an outline of the position of the applicant or its foreign affiliated person, etc., regarding the taxation, together with a copy of the complaint for the administrative appeal or the lawsuit
- (3) If the MAP request is regarding transfer pricing taxation in Japan or in a treaty partner: in addition to the documents described in (1), documents describing the direct or indirect capital relationship or the de facto control relationship between the parties involved in the transactions that are the subject of the MAP request
- (4) If the MAP request is related to Article 13 of the Ministerial Ordinance (Income Tax Convention), and the applicable tax treaty or intergovernmental agreements appended to the tax treaty provide items that should be considered in a mutual agreement procedure: in addition to the documents described in (1), documents relating to those items
- (5) If the MAP applicant or its foreign affiliated corporation has made a MAP request to the competent authority of the treaty partner: in addition to the documents described in (1), a copy of documents explaining that fact
- (6) Other documents that are relevant to the MAP

5. If the attachments are in languages other than Japanese, attach Japanese translations of them.

6. Contact the MAP Office without delay in the following cases:

- (1) If the applicant detects an error or significant change in the Application, the attachments or any other documents.
- (2) If there is any progress or any change in status of the tax disposition, administrative appeal or APA review in the treaty partner.

7. Others

- (1) A pre-filing consultation is available before a MAP request.
Contact details: The MAP Office 0081-(0)3-3581-5451(ex.3715)
- (2) MAP is conducted in accordance with the Commissioner's Directive on the Mutual Agreement Procedure (Administrative Guidelines) issued on June 25, 2001 [Document ID: Office of Mutual Agreement Procedures 1-39 and others]. This Administrative Guideline is available at the MAP Office, and may also be found on the website of National Tax Agency (www.nta.go.jp).